

Mokutaiikyō

木耐協

マンスリーレポート

2025.8
vol.
320



1. 元離宮二条城・本丸御殿全景
2. 御殿の主な居室である「御常御殿 松鶴の間」。今回の保存修理工事では障壁画も対象であった
3. 耐震補強のために設置された鉄骨補強柱

特集

熱中症対策が義務化!

現場の備え、できていますか?

今号の表紙

元離宮二条城・本丸御殿(重要文化財／京都)は、1884年に二条城が皇室の離宮となった後、明治天皇の命によって、1894年に京都御所の北にあった桂宮家の御殿の主要部を移築した建物です。明治から大正時代にかけて嘉仁皇太子(後の大正天皇)や裕仁皇太子(後の昭和天皇)等の宿泊所として使用されました。1995年の阪神・淡路大震災で建物に歪みが生じたため、耐震補強を含めた保存修理工事を実施。2024年9月より18年ぶりに一般公開が開始されました(通年公開は初めて)。

写真提供: 元離宮二条城事務所
URL: 世界遺産元離宮二条城「本丸御殿・庭園」紹介ページ
<https://nijo-jocastle.city.kyoto.lg.jp/introduction/highlights/honmaru/>



日本木造住宅耐震補強事業者協同組合



熱中症対策フローチャート

熱中症を疑う！見つける！

自覚症状：自分で症状を疑う

立ちくらみ・めまい

頭痛

吐き気

手足がつる・こむら返り

倦怠感

等

他覚症状：周りの人が気づいてあげる

生あくび

大量の発汗

ふらつき

言動がおかしい

けいれん

等

熱中症の疑いがある人を発見

- ①涼しい場所へ避難
- ②脱衣・身体を冷やす（水をかけて急速冷却）
- ③現場責任者へ連絡

意識がない
返事がおかしい
等

異常あり

意識の異常等を確認

異常等なし

意識が
はっきりしている

救急車を呼ぶ

医療機関へ搬送

自力で
水分が摂取
できない

悪化

水・塩をとらせる

経過観察 一人にしないこと

回復

救急車を呼ぶか
迷ったら
#7119
(救急安心センター事業)

スポーツ飲料などの
水分をとらせる
足を高く上げ、手足から
中心へマッサージ

回復後も体調が急変する
ケースがあるため、
急変時の対応は
あらかじめ定めておく

連絡先

救急車は119番

医療機関連絡先

名称

TEL

現場責任者連絡先

名称

TEL

制作：日本木造住宅耐震補強事業者協同組合

特集

熱中症対策が義務化

現場の備え、 できていますか？

労働安全衛生規則（安衛則）の改正省令が6月1日より施行され、熱中症対策が企業に義務づけられました。今回の特集では、法改正のポイントと現場でのチェックポイントをフローチャートにまとめましたので、合わせてご活用ください。

文：伊藤健三

死亡事故例

2024年7月に起きた熱中症による死亡災害

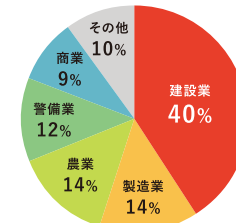
【40歳代 / 気温33.4℃ / WBGT指数29.9℃】

被災者は午前8時頃から病院の新築工事に従事していましたが、11時20分頃に体調不良を訴えて休憩。その後、意識を失い救急搬送されましたが、発症から2日後に死亡しました。

職場における熱中症による死者数の4割が建設業

熱中症による死傷者数の
業種別の状況
(2020～2024年)

建設業 9%
警備業 12%
農業 14%
製造業 14%
商業 10%
その他 9%



出典：厚生労働省 2024年（令和6年）職場における熱中症による死傷災害の発生状況（確定値）
<https://www.mhlw.go.jp/content/11303000/001496511.pdf>

熱中症対策に役立つツール

WBGT計（黒球式熱中症指数計）

輻射熱も測定できる黒球付JIS規格対応品でWBGT（暑さ指数）を計測しましょう。可能であれば、複数箇所測定することが望ましいとされています。



熱中症対策ウォッチ

深部体温の上昇を検知してアラームが鳴るウェアラブル（身に付ける）デバイスです。自覚症状がわかりにくい熱中症リスクを事前に教えてくれます。



熱中症対策に役立つWebサイト

厚生労働省「働く人の今すぐ使える熱中症ガイド」

熱中症の知識を深める動画や多言語（英語、ベトナム語）にも対応した案内がまとまっています

<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>



中央労働災害防止協会「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」

熱中症対策グッズや法改正の解説動画などがわかりやすくまとめられています。

<https://www.jisha.or.jp/info/campaign/neccyusho/>



法改正で企業に義務づけられたコト

熱中症対策が義務づけられる作業の条件

対象となる作業は、WBGT（暑さ指数）28度以上または気温31度以上の環境で、連続1時間以上または1日4時間以上の実施が見込める作業です。

企業に求められる対策

上記条件に当てはまる作業を行う企業は「①報告体制の整備」、「②実施手順の作成」、「③関係者（労働者）に周知」を実施する義務があります。

対策を怠った場合の罰則

企業が対策を怠った場合は、6カ月以下の拘禁刑または50万円以下の罰金が科される可能性があります。

厚生労働省は、報告の体制整備の方法として、2人以上の作業者が互いに健康状態を確認する「パディ制」の採用や、ウェアラブルデバイス（左記）による作業者の体調管理などを推奨しています。現場での報告体制の共有に使えるフローチャートを左ページにまとめていますのでご活用ください。データは組合員専用ホームページに公開しています。

講演紹介 1

▶
南海トラフ地震対策と耐震化

名古屋大学 名誉教授 /
一般社団法人防災教育普及協会 理事 福和伸夫 氏

<講演のポイント>

南海トラフ巨大地震の新たな被害想定や対策には、“本音”を多く盛り込んだ。

耐震化率は地域差がある。
命に加え、社会機能を維持する耐震性も必要。

防災庁設立のための議論では、「本気の事前防災」の徹底がテーマ。
行政頼みではなくあらゆる人が本気で取り組む必要がある。



事前防災＝南トラの被害軽減

1. 徹底的な耐震化・強靱化 (Vulnerability)
① 重要インフラ・施設(庁舎・病院・福祉施設など)の耐震強化(機能維持)
② 遠まなしい住宅と産業界の耐震補強 百数十万の投資で数千万の節約！
孤立予想地域の公営による耐震改修を！(地震後には数倍が困難な地域)
③ 一座の地震で命を守る耐震から地震後も機能維持する耐震 金費も壁式構造(大地震動では上部構造・杭基礎共に損傷許容、揺れやすい軟弱地盤・建物)
2. 危険を避ける土地利用 (Hazard)
① 危険地を避ける立地適正化(強震、液状化、崖崩れ、地すべり、土石流、津波)
② 木造家屋密集地域の解消と津波被災地域の事前復興
3. 同時被災を避ける過密解消 (Exposure)
① 大都市の過密解消＝自衛・分散・協議型の国土(国土形成計画)
② デジタル活用の地域創生・現代版参勤交代制
③ 地方の魅力を以て地方創生！

10
国難災害では社会機能の維持を！力が残る今が肝心

講演紹介 2

▶
心地よいインテリアへ 空間のコーディネート

OZONEインテリアデザイナー 志村文子 氏

<講演のポイント>

インテリアのビフォーアフターの事例をあげ、
心地よい空間づくりのポイントを解説。

好みのインテリア写真を集めて共通点を探すなど、
理想のイメージを明確にする。

フォーカルポイント(パッと目を引く演出された場所)は、
空間を広く見せるなどの効果がある。



フォーカルポイントとは



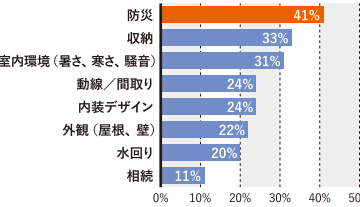
TVは自然と視線が集まる場所。植物やフロアスタンドは、TVの視線や印象をやわらげ、心地より感度を作り出す。

受講者アンケート結果

▶
現在の住まいで気になるところ、回答数最多は「防災」で41%！

現在の住まいのなかで気になるところや改修したいところはあるかどうか聞いたところ、61%が「ある」と回答。「ある」という回答者でその箇所を聞いたところ、「防災」が41%と一番多い回答となりました。次いで「収納」が33%となり、日ごろ過ごす室内環境(暑さ・寒さ・騒音)より多く回答がありました。防災への関心が高い方が本セミナーを聴講されていますが、住まいの防災対策については、途中またはこれからという方も多くと考えられます。

Q.現在の住まいで気になるところや改修したいところはどこですか？(複数回答可)



項目	割合
防災	41%
収納	33%
室内環境(暑さ、寒さ、騒音)	31%
動線/間取り	24%
内装デザイン	24%
外観(屋根、壁)	22%
水回り	20%
相続	11%

<様々な感想をいただきました>

木造建築の問題など色々わかり、知識がアップデートでき参考になりました。

非常に参考になった。国や役人に言いつらい事をすばり発言し、真の防災に必要な事は何か、市民が本当に知りたいことを聞いた。

ポイントをおくことで、見違えるような空間に変わることによって改めてインテリアデザインの力を感しました。



Seminar
木耐協セミナー
開催報告

Vol.02

2025年 第2回 消費者向けオンラインセミナー

▼
テーマは『南海トラフ地震対策 & 心地よいインテリア』

のべ190人にご参加いただきました！

木耐協主催で年4回開催する無料の消費者向けオンラインセミナー。第2回を6月21日(土)に開催しました。講演の様子と、受講者のアンケートを一部紹介します。



もくたいきょう
木耐協
住宅リフォーム
事業者団体
国土交通大臣登録

もっと活かそう！
構成員だけが使える
「国土交通大臣登録」ロゴ

木耐協
あ・れ・こ・れ
寄稿

構成員のメリット“国土交通大臣登録”のロゴマークが使える！

住宅リフォーム事業者団体登録制度の構成員になると、名刺・チラシ・ホームページなどに「国土交通大臣登録」のロゴマークを使用できます。それだけで「信頼感」がぐっと高まります。

屋根や太陽光発電システムに関する悪質な点検商法が連日のように報道されています。その対策のひとつとして、警視庁や自治体が制作したチラシでは団体制度の登録事業者が安心できるリフォーム業者と紹介されています。

警視庁や自治体が制作したチラシで団体制度の登録事業者を安心できるリフォーム業者と紹介





構成員の皆様の活動を後押しする新たな動きを進めています

動き1
団体ロゴのステッカー！

新たに団体ロゴマークのステッカー(2サイズ)が完成し、構成員の皆様へお送りしました。
事務所や社用車に掲出してご活用ください。



当社は国土交通大臣登録している日本木造住宅耐震補強事業者協同組合の構成員です

[ステッカー大] 1枚
横26cm×縦21cm



当社は国土交通大臣登録している日本木造住宅耐震補強事業者協同組合の構成員です

[ステッカー小] 2枚
横18.3cm×縦14.8cm

動き2
組合ホームページの「組合員検索」でロゴマークが表示されます

木耐協ホームページ内の「組合員検索」において、構成員である組合員に団体ロゴマークが表示されるよう改良し、構成員であることを広くPRしていきます。

耐震工務店 株式会社
333-2222 東京都千代田区



構成員の登録方法や制度のご不明点等は
お気軽に事務局へお問合せください！

耐震に関する相談や質問について、技術的な根拠となる資料を元に回答しております。本紙面で以前掲載した内容から特にお問い合わせの多い質問事項について、木耐協「技術向上委員会」の見解も交えてご紹介します。

Q 液状化の可能性の高い地盤は、「非常に悪い地盤」と判断し、必要耐力の割増し係数を「1.5」とすべきか？

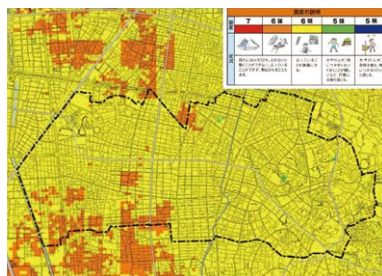
A その通りです。液状化の可能性が極めて高い地盤は、割増しが必要な「地盤が非常に悪い敷地」と判断します。自治体で公表されている地震の発生確率と、液状化の可能性に関するハザードマップから判断を行います。今回は名古屋市を例に挙げます。

名古屋市の例

トップページ > 暮らしの情報 > 防災・危機管理 > 災害に備える > なごやハザードマップ防災ガイドブック

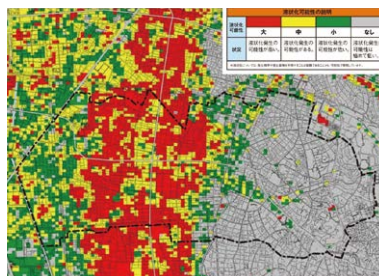
▶ 申込者の住所から、
想定震度と液状化可能性を確認し、地盤を判断

地震ハザードマップ



震度の説明				
7	6強	6弱	5強	5弱

洪水・内水ハザードマップ



液状化可能性の説明				
液状化可能性	大	中	小	なし
状況	液状化発生の可能性が高い。	液状化発生の可能性がある。	液状化発生の可能性が低い。	液状化発生の可能性は極めて低い。

判断

- ◆ 想定震度「5強以下」かつ液状化可能性「なし」の地域
→ **良い・普通地盤**
- ◆ 想定震度「6強以上」かつ液状化可能性「大」の地域
→ **非常に悪い地盤**
(軟弱地盤割増1.5)
- ◆ その他の地域
→ **悪い地盤**

		液状化可能性			
		なし	小	中	大
想定最大震度	5強以下	良い・普通			
	6弱		悪い		
	6強以上				非常に悪い

地盤割増し係数の判断基準について

今月のテーマ

出典

なごやハザードマップ防災ガイドブック
<https://www.city.nagoya.jp/bosaikikanri/page/0000154016.html>



木耐協メーカー賛助会員様からのご案内

不動産事業を軌道に乗せる、これから始めるリフォーム事業者の皆様へ

建築コスト上昇により 中古不動産が 再注目される?!

過去リフォーム顧客だけでなく耐震診断だけで終わっている顧客の不動産に関する問題解決から新たな売り上げを作ることができます



『不動産営業のDX化』は弊社にお任せ下さい！

リフォーム事業者様が抱える不動産の問題を解決します！

まずは資料請求を
<https://www.self-in.biz/demand/>



これからの住まい購入の新基準
リニアル仲介株式会社
東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル38階

TEL.03-3346-4329
<https://www.self-in.biz/>



木耐協事務局 | 鈴木芳郎

神奈川県生まれ。1級建築士。2024年より木耐協技術顧問。以前、執行役員を務めていた会社で工務店経営コンサルや商品開発支援、仮設住宅建設に尽力。

技術的な
質問や相談を
お送りください

Mail mts@mokutaiikyo.com

Tel 03-6261-2040 (木耐協事務局)

社員がもっと活躍できる 人事基礎講座

**教える側と
教わる側のギャップ**

毎年新卒を定期的に採用できる工務店・リフォーム会社は少ないと思います。そのため、20代社員の指導係が40〜50代になるという、世代が離れた状況になっている会社も多いのではないのでしょうか。そのため、教える側と教わる側の考え方や常識の違いを、教える側が理解する事が大切です。例えばネット普及時代の前と後では、求める答えにたどり着く過程が異なります。ネット前世代はまず先輩や職人さん、メーカーに聞きます。活字の資料は、標準施工図など

はありますが営業に関するものは少なく、先輩に教わるしかありませんでした。それに対しネット普及後の世代は簡単に知りたい答えにたどり着きます。だから答えに行き付くまでのプロセスには関心がなく、重要だと思いません。育ってきた時代が違うので、考え方や常識が違うのです。

**教える世代が常識を
今にアップデートする**

育ってきた環境が異なるので、教わる側をこれまでの方法で指導するのは難しいです。言って聞かせられないなら自分

からやるように仕向け、その前提は今の世代が大切にする事への理解です。現在の若者は自分の成長を大事にする傾向があるので、教える事より成功させる事に目を向けるべきなのです。私たちの仕事のやりがいはいは、多くの場合、引渡時に「あなたに頼んでよかった」と言われる瞬間です。だからその回数を増やせるように、客を増やすための契約支援が重要です。成功体験からもっと学びたいという流れに出来ると、自走する社員の増加に繋がります。

プロフィール



石原直之

1989年に新卒でホームイング（現ミサワリフォーム）に入社。1992年ホームテック（東京都、売上65億）創立に参加。取締役として営業、マーケティング、新規事業部門長を歴任。2020年より中小リフォーム会社の経営者の業務をサポートする業務支援株式会社を設立し現在にいたる。日本住宅リフォーム産業協会（ジェルコ）理事、事業開発統括委員長も務める。

業務支援株式会社 E-mail ishihara@g40.biz

第6回

**若手や
未経験中途の育成を
上手く進めるには？**

**世代による考え方や常識の違いを
教える側が理解し、
「教育」よりも「成功」に目を向けさせる**

シ道
資格は武器になる

視野や知識を広げ、
お客様への提案に役立つ
資格をご紹介します。

▼リノベーションコーディネーターとは、中古住宅流通とリノベーションの提供に必要な知識を総合的に学ぶことができる資格制度です。リノベーションに携わる仕事は、「住宅を売って終わり・つくって終わり」ではなく、お客様の「暮らしを編集」できる仕事となっています。2022年に創設されました。当たり前になりつつある既存住宅の流通とリノベーションの基本的な流れと全体像を学ぶことができます。

第15回 リノベーション コーディネーター

ポイント

既存住宅の流通や
リノベの基本的な流れと
全体像が学べる

- ▶ 受験資格：特になし
- ▶ 資格取得費用：受験料8,800円（税込）
テキスト1,760円（税込）
※試験はCBT方式（会場でパソコン受験）
※提携団体割引クーポンコード「RCNT2025_dantaiwari」の利用で受験料25%OFF（2025年限定）。
- ▶ 試験時期：11月1日～30日
- ▶ 管理団体：一般社団法人 リノベーション協議会

https://plus.renovation.or.jp/r_coordinator/



News & Topics

■ 木耐協 全日本災害住宅レジリエンス協会と 「災害時の復旧活動の協力に関する包括連携協定」を締結

木耐協はこの度、被災された住宅の迅速な復旧工事活動を推進する一般社団法人全日本災害住宅レジリエンス協会（略称：JRD）と、【災害時の復旧活動の協力に関する包括連携協定】を締結しました。被災された地域へのリフォーム事業者や専門業者の派遣、被災エリアの地元リフォーム事業者への応援やサポートを行う予定です。組合員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

ニュースキャスト（リリースサイト）

<https://newscast.jp/news/7954464>



組 合 員 さ ん

こ ん に ち は !

事務局員がおじゃまします

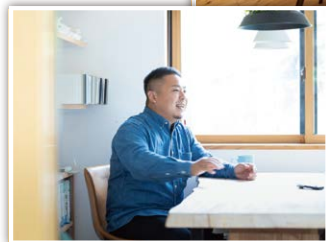
有限会社 浜砂住建様

宮崎県宮崎市

「リベシエン」住宅
「Hei-HOUSE」の施工事例



代表取締役
濱砂貴弘様



餅まきでは抽選券も配布し、豪華景品のあたる抽選会も実施。



浜砂住建様は、宮崎市清武町を拠点に「家づくりを通して家族の笑顔と幸せをつくる」を理念に掲げてご活動されています。今年は地域の地震リスクを踏まえ、耐震診断・補強事業を本格的に始動されました。今回はその取り組みをご紹介します。

地震リスクに備え 耐震の体制を構築

2024年8月に最大震度6弱の地震が発生するなど、近年地震が多発している宮崎県。南海トラフ地震への不安を背景に、「耐震

Instagramの投稿より。
床下・天井裏の診断を動画で伝えています



について改めて学びたい」とのご要望を受け、オンライン勉強会を実施。耐震事業の全体像を理解いただいたうえで、本格的な取り組みを開始されました。木耐協研修をすべて受講し、「耐震技術認定者」の資格を3名取得され、社内体制を整備されました。

OB顧客からスタート イベントでも耐震をPR

まずは、OB顧客へ耐震診断の案内を送付し、耐震診断の案件を獲得。さらに、耐震工事を受注したお客様の近隣の方に耐震診断を案内されています。診断書や補強案も自社で作成し、木耐協の補強プランと比較しながら技術力を磨き、ワンストップで対応する体制を目指されています。

また、構造見学会や相談会、餅まきなどのイベントも定期的に開催されています。新たに「耐震診断・補強相談会」を開催されるなどイベントも企画され、今後は公民館などでの耐震セミナー開催も検討中とのことです。

SNSやHPで 耐震の情報発信

自社ホームページやInstagramを活用し、耐震診断を「お家の健康診断」として分かりやすく発信。動画を交えた臨場感ある投稿では、基礎のひび割れや含水率、天井裏の調査、筋交いや柱の金物状況など、診断道具を用いて調査する様子が紹介されています。

「夏場の床下調査は蒸し風呂状態で危険も伴いますが、1人でも多くの方に安心な住まいを届けた」との思いで、適切なリフォーム・耐震補強を提案。地域の皆様に耐震化の大切さを伝える取り組みを続けておられます。

耐震診断の実践に加え、Instagramやホームページで防災情報誌での発信を通じ地域に貢献される姿勢が素晴らしいです。地域の安心を支える企業として、今後も安全な住まいづくりを続けていかれることを期待しています。

(事務局:伊藤)

